

**令和5年度
全国学力・学習状況調査
学校の調査結果**



今泉小イメージマーク

**令和5年12月
海老名市立今泉小学校**

令和5年度

全国学力・学習状況調査について

調査の目的

- (1)義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2)学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3)そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

調査内容

(1)教科に関する調査(国語、算数)

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 等
- ②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 等

調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入する。

(2)生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

調査実施日

令和5年4月18日(火)

※児童生徒質問紙調査(一部)について、児童生徒が活用するICT端末等を用いたオンライン方式により実施

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・情報と情報との関係を捉えたり、グラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫したりすることができるかどうかをみる。
- ・目的に応じて必要な情報を見付けたり、情報を関係付けて整理したりして、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。
- ・話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと。
 - 「意外」…(全国比+7.8) 「期間」…(全国比+1.4)
- 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けること。(全国比+5.0)
- 図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。(全国比+4.8)

◆課題のある点

- 問題を解くのに時間がかかりすぎてしまうこと。
 - 根拠① 児童質問紙において、解答時間が「やや足りなかった、全く足りなかった」と回答した割合がとても高いです。(全国比+21.5)
 - 根拠② 問題終盤は、選択式問題が多いにもかかわらず無解答率がとても高いです。(最終問題の選択式問題の無解答率は全国比+13.3)
- 目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめ、記述すること。(全国比-8.8)
- 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめ、記述すること。(全国比-2.7)

今後の具体的な指導改善のポイント

- 目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめるには…
 - 話し手の考えと自分の考えの共通点や相違点を整理したり、共感した内容や納得した事例を取り上げたりします。
- 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめるには…
 - 分かったことと考えたことをつながりが分かるように、理由を示す表現(「だから」や「なぜなら」)などを用います。
 - 複数の文章を読むなどして、文章をよく理解したり、自分の考えを広げたりします。

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・日常生活の場面の数量の関係に着目し、伴って変わる二つの数量の関係について考察できるかどうかをみる。
- ・基本的な図形の内容や直線の位置関係について理解し、図形を構成する要素などに着目して図形の性質や図形の計量について考察できるかどうかをみる。
- ・数量の関係に着目して問題場面を解釈し数学的に表現・処理したり、計算に関して成り立つ性質を基に計算の仕方を考えたりすることができるかどうかをみる。
- ・日常生活の問題を解決するために、目的に応じて、表やグラフからデータの特徴や傾向を捉えることができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 百分率で表された割合について理解していること。（全国比+9.1）
- 日常生活の中の問題場面をとらえ、小数の加法や乗法を用いて、求め方と答えを式や言葉を用いて記述すること。（全国比+8.7）
- 示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見いだした違いを言葉と数を用いて記述すること。（全国比+8.4）
- 二次元の表から、条件に合う数を読み取ること。（全国比+8.4）
- 伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、知りたい数量の大きさの求め方と答えを式や言葉を用いて記述すること。（全国比+5.9）
- $(2\text{位数}) \div (1\text{位数})$ の筆算について、図を基に、各段階の商の意味を考えること。（全国比+5.7）
- 台形の意味や性質について理解していること。（全国比+5.6）
- $()$ を用いた式や、加法と乗法の混合した式を場面と関連付けて読み取ること。（全国比+5.3）

◆課題のある点

- 「以上」の意味を理解し、示された表から必要な数を読み取ること。（全国比-5.6）
 - 30分以上の日数を解答する問題において、「30分」を含めていない。

今後の具体的な指導改善のポイント

- すべての領域において、全国比では正答率が上回っているものの、さらなる学力向上をめざして、「理由を記述する」「考えをまとめる」など、自分の考えを文章等で表現したり、発言したりする学習を充実させていきます。
- 一人ひとりの児童の学習状況に着目して、個に応じた適切な学習指導をしていきます。

学習について

◆本校のよかったところ

「当てはまる」と回答した児童の割合が、全国比で5ポイント以上 上回っていた設問。

- 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。
- 国語の授業で、物語を読むときに、登場人物の性格や特徴、物語全体を具体的にイメージし、どのような表現で描かれているのかに着目している。
- 算数の授業の内容はよく分かる。
- 国語の勉強は大切だと思う。

◆本校の課題と思われるところ

- 算数の勉強が好きと回答した児童の割合が全国に比べて低いです。
- 国語の授業で、立場や考えの違いを意識して話し合い、自分とは違う意見を生かして自分の考えをまとめていると回答した児童の割合が全国に比べて低いです。
- 5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどの ICT 機器を使用した頻度が全国に比べて低いです。

生活について

◆本校のよかったところ

「当てはまる」と回答した児童の割合が、全国比で5ポイント以上 上回っていた設問。

- 学校に行くのは楽しいと思う。
- 将来の夢や目標を持っている。

◆本校の課題と思われるところ

- 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいると回答した児童の割合が全国に比べて低いです。
- あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると回答した児童の割合が全国に比べて低いです。

今後の具体的な取組について

- 授業では、タブレット端末をさらに活用して、個々の児童の考えを共有しながら自分の考えを深めていく学習や、個々の理解度に応じた個別最適な学習を実践していきます。
- 学級での話し合いでは、多様な意見を認め合い、互いのよさを生かしながら考え、伝え合い、合意形成することができるようにします。
- 児童が自分で判断し、自己決定する場の設定を充実させたり、子どもの意思を確認したりしていくことで、自己肯定感を高められるようにしていきます。

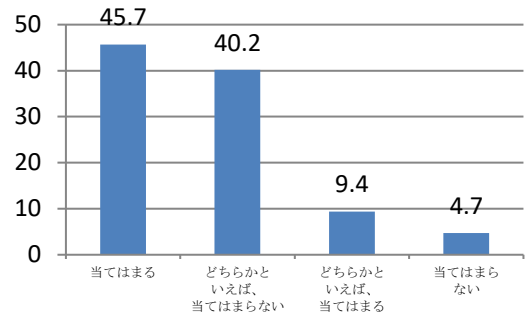
ご家庭で取り組んでいただきたいこと

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の児童質問紙の結果です。

1

自己肯定感を高めていきましょう。

自分のよいところや得意なことを伸ばしていくことによって、自信をもって活動することができます。これからも、いろいろなことに挑戦し、自己肯定感を高めていきましょう。

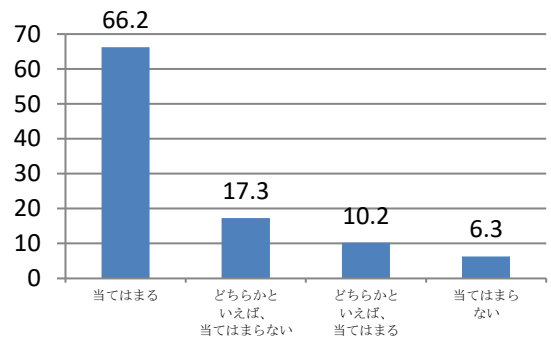


自分には、よいところがあると思いますか

2

目標をもって生活しましょう。

なりたい自分を目指すために、将来の夢や目標を設定することによって、なぜ頑張らなければならないのかを明確にすることができます。目標をもって生活しましょう。

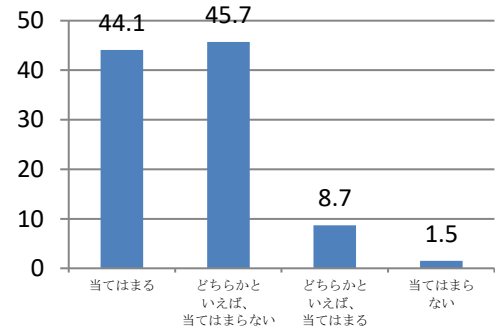


将来の夢や目標を持っていますか

3

みんなで支え合いきましょう。

困っている人がいたら進んで助けてあげましょう。これからは、様々な人が、分け隔てなく暮らすことのできる共生社会を形成していくことが大切です。みんなで支え合いきましょう。

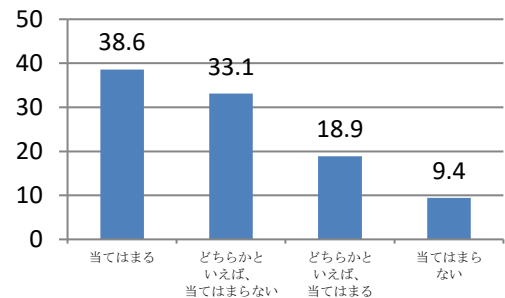


人が困っているときは、進んで助けていますか

4

多くの本を読みましょう。

読書活動をすることによって、言葉を学んだり、表現力を高めたりすることができます。学校図書館の本や電子図書館など、たくさんの書物に触れる機会を充実させ、多くの本を読みましょう。



読書は好きですか



文部科学省における学習指導の改善・充実に向けての主な取組

1. 学習指導要領の着実な実施

- 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
- 指導改善に資する情報提供等(国立教育政策研究所)

2. 英語の学習指導の改善・充実

- 海外の学校等との国際交流や協働的な学習の推進
- 科学技術人材の育成

3. GIGA スクール構想の更なる取組の推進

- 国費による学校 DX 戦略アドバイザーの派遣等による支援
- 切れ目のない研修コンテンツの提供

4. 児童生徒の豊かな心をはぐくむ取組の推進

- 道徳教育や特別活動、体験活動、生徒指導など学校教育活動全体を通じて児童生徒の豊かな心をはぐくむ取組を推進

5. 学校における指導・運営体制の充実

- 小学校における35人学級の計画的整備や高学年教科担任制の推進等のための教職員定数の改善
- 教員業務支援員や学習指導員等の支援スタッフの充実

6. 調査結果を活用した追加分析等

- 令和5年度調査の結果を活用した追加分析
- 個票データ等の貸与

海老名市における学習指導の改善・充実に向けての主な取組



**多様性を受け止め、多様性を生かし、
えびなっ子ひとりひとりの
学びを保障する教育をめざします**



3つの重点

- ①授業改善の実践 ②教育支援体制の充実 ③特色ある学校づくりの推進

①授業改善の実践

- 「主体的・対話的で深い学び」を追求し、授業改善を継続します
- 今日的な教育課題であるプログラミング教育、外国語教育、キャリア教育などを実践します
- 学校ICTを有効に活用します
- 市教育委員会として、実践のために必要な学校へのサポートを行います(予算確保や環境整備、教職員向けの研修など)

【市の結果についての問い合わせ先】
電話 046-235-4919
海老名市教育委員会教育支援課 指導係